

長野市PTA新聞



発行所
長野市PTA連合会
発行人
小林和彰
編集責任者
小林由美

令和7年度活動テーマ

「ともに」～存在感のある市P連を追求する～

SEARCH → 長野市PTA連合会

〒380-0936 長野市中御所30-1 山王小学校内
TEL: 026-268-1301 FAX: 026-268-1302

INDEX

- 1 教育における「ウェルビーイング」
- 2 「ともに」～存在感のある市P連を追求する～
令和7年度役員・専門委員会・ブロック紹介

教育における「ウェルビーイング」



「ウェルビーイング」って？

「ウェルビーイング (Well-being)」という言葉を目にしたことはありませんか？
直訳すると「良い状態」「幸せ」といった意味ですが、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含み、また、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念といわれています。

今、教育の世界でもこの「ウェルビーイング」がとても大切にされています。

子どもたちが"幸せに学ぶ"ってどういうこと？

国の教育政策全体の方向性や目標を定める「教育振興基本計画」の最新版（第4期：令和5年度～令和9年度）でも、「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」がコンセプトとされ、同じく長野県の教育振興基本計画でも、「個人と社会のウェルビーイングの実現」が目指すべき姿とされています。つまり、教育現場においても、子どもたちの学力だけでなく、子どもたちが幸せに、元気に、そして自分らしく生きていけるという「心の安定」や「人間関係の豊かさ」こそが学びの大切な目的だと考える動きが広がっています。

では、子どもたちのウェルビーイングとは何でしょうか

一例として…

身体的健康 : 十分な睡眠、栄養、運動など

精神的安定 : 安心感、自己肯定感、ストレスへの対処力、成功体験の積み重ねなど

社会的つながり : 友達や家族との良好な関係、自分の興味関心に基づいた学習など



SEARCH

↓より詳しく↓

長野県の教育政策全体の方向性や
目標を定める
「教育振興基本計画」

学校・家庭・地域とのつながり

学校でも子どもたちのウェルビーイングの実現に向けた取り組みがなされており、毎週「ウェルビーイングタイム」として、クラスで気持ちを話し合ったり、お互いに感謝を伝え合う時間を設けている学校もあるそうです。このような取り組みによって、児童・生徒の精神的安定や友達との良好な関係の構築がなされます。

もちろん、家庭でも子どもたちの心の健康を育むことができます。例えば、「今日どんなことがあった？」と話を聞く、できたことを一緒に喜ぶ、「ありがとう」「うれしいね」と言葉で気持ちを伝えることを毎日積み重ねるだけでも、子どもたちの安心感と自信を育てていきます。

今日からできる!!

親子で幸せになるしつけの7か条

親子でできる子どもたちのウェルビーイングの実現に向けた取り組みについて、元小学校教師であり教育評論家である親野智可等（おやのちから）先生にお聞きしました。親野先生は具体的ですぐできるアイデアで子育て中の親たちから圧倒的な支持を得ています。親野先生の言葉や考え方に共感したり、はっとしたりする方も多いのではないのでしょうか。

そんな親野先生から、「親子で幸せになるしつけの7か条」をご紹介します。普段の親子のやり取りの中で大切にしたいですね。

親野先生はこのほかにも子どもの自己肯定感を高める子育て習慣である「ほめ写」をはじめ、親子のふれあいに関する多くの情報発信をされていますので、ぜひリンクからご覧ください。



おやの ちから
親野智可等 氏

教育評論家。
長年の教師経験をもとに、子育て、しつけ、親子関係、勉強法、学力向上、家庭教育について具体的に提案。人気マンガ「ドラゴン桜」の指南役としても著名。各種SNSで発信中。全国各地の小・中・高等学校、幼稚園・保育園のPTA、市町村の教育講演会、先生や保育士の研修会でも大人気となっている。オンライン講演も経験豊富。

1. 親が良い見本になる

親が使う言葉や行動を子どもが真似するようになる

2. ほめる

子どもがほめて欲しいことを汲み取ってほめたり、「横から目線のほめ方」を心がける

3. 価値づけ・啓発をする

子どもの発した言葉の価値を教えることも大切

4. できないからと叱らない

果物が熟すのと同じで、子どもの内側で機が熟す時を待つ

5. 穏やかに言って聞かせる

同じことを何度でも繰り返し穏やかに言ってあげる

6. 叱らずに手伝う・やってあげる

言って聞かせたり工夫したり、それでもできないことは手伝って一緒にやってあげる

7. 時期が来るのを待つ

どの子も自分のペースで成長します
親にできることをしつつ、後は待つことが大事



SEARCH

↓より詳しく↓

親子で幸せになる
しつけの7か条



SEARCH

↓より詳しく↓

「ほめ写」とは

「ほめ写」とは、子どもの写真を飾ってほめることで、自己肯定感を高める新しい子育て習慣です。写真を通じて子どもが「自分ができる」「大切にされている」と感じることを目的としています。この取り組みは「ほめ写プロジェクト」として広まり、科学的な研究も行われています。

令和7年度活動テーマ

「ともに」～存在感のある市P連を追求する～

長野市PTA連合会
会長 小林 和彰



長野市PTA連合会（通称市P連）は、具体的な事業を企画・運営する5つの委員会（広報・研究企画・教育問題・家庭教育・保護者代表者）と地域により区分した5つのブロック協議会（千曲川・西北・東北・北部・犀南）を構成して活動しています。それぞれの委員会・ブロック協議会の様子や活動内容については委員長・ブロック長よりご案内いただきますが、各種研修会や長野市大人と子どもの心得八か条の定着活動などを通じて家庭教育力向上を図ること、長野市教育委員会・校長会・単位PTA会長が一堂に会し意見交換を行う長野市教育懇談会をはじめとし、長野市教育委員会及び教育関係団体と協力して教育課題に取り組むことで、保護者・教職員が気付きや学びを得て、長野市子どもたちがより良い教育環境で学ぶことができることを目指しています。

このように市P連は幅広くさまざまな活動を行っておりますが、多くの会員の皆さまからすると遠い存在となってしまっており、「市P連って何？何やっているの？」と思われるままの事実です。

このような中であって、本年度の市P連の活動テーマを「ともに」～存在感のある市P連を追求する～に決めました。私自身は、長野市、長野市教育委員会という教育行政機関のカウンターパート（交渉・協働相手）として市P連が存在することに大きな意義があると考えています。教育課題について、市P連だからこそできる提言を行い、しっかりと教育行政にもコミットすること、また、それを広報することで、市P連の存在感を高めて参りたいと考えています。

子どもたちが楽しく笑顔で暮らしていくことは、子どもたちに関わる全ての人の願いです。長野市子どもたちの笑顔と明るい未来のために、「ともに」力を合わせ、活動して参りましょう。



役員

- | | | | | | |
|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 副会長
村 篤
(松代中) | 副会長
鐘 真弓
(櫻ヶ岡中) | 副会長
山 隆
(湯谷小長) | 副会長
林 和彰
(附属小) | 副会長
石 晶子
(柳町中) | 副会長
若麻 英亮
(城山小) |
|---------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|

〔長野市PTA連合会の協賛企業です。ぜひ広告をクリックしてね☺〕

HOKITO
NO KINOKO, NO DAYS.
大切な毎日を、大切な一日に ～カラダ整う、ココロ潤う～

受講生募集!

窓口でお待ちしております!

はじめよう! あなたの好きなコト。
すみへいカルチャーセンター

☎ 026-213-8005

すみへいカルチャーセンター 検索

生徒募集

2025年 舞台予定

9月7日(日) ——— 白鳥バレエ学園
県民芸術祭2025参加 白鳥バレエフェスティバル
[長野市芸術館 メインホール]

10月13日(月・祝) ——— ダンススタジオブロードウェイ
定期公演 オリジナルコレクションズVol.34
[長野市芸術館 メインホール]

Hakucho Ballet Academy 〒380-0836 長野県長野市南県町639
白鳥バレエ学園・ダンススタジオブロードウェイ 026-234-4551

令和7年度 専門委員会・ブロックの紹介

広報委員会



委員長
小林 由美
(東北中)

広報委員会では、年2回（9月と2月発行予定）の長野市PTA新聞の発行とホームページで長野市PTA連合会の取り組み、各委員会、各ブロック、そして各単位PTAの活動などを紹介していきます。
今年度より、新たな取り組みとして長野市PTA新聞のデータ配信が始まります。会員の皆さまに、興味をもっていただけるような情報を発信していきたいと思えます。

千曲川



ブロック長
小林 洋介
(若穂中)

本年度より、旧東部ブロックと旧南部ブロックが統合され、新たに千曲川ブロックとして活動していくことになりました。千曲川ブロックは、篠ノ井・松代・若穂地区の小中学校18校で構成されています。年3回の役員会と11月にふれあい研修会を予定しております。各校との情報交換をしながら、少しでも多くの皆さまにPTA活動に参加していただけるような活動をしていきます。

研究企画委員会



委員長
立川 千鶴
(川中島小)

研究企画委員会では、長野市PTA連合会研究集會を兼ねる第57回日本PTA関東ブロック研究大会ながの大会の運営のお手伝いと、次年度単位PTA会長会の企画・運営を行います。
とても貴重な体験ができると思えますので、皆さまもぜひご参加ください。

西北



ブロック長
増田 大輔
(柳町中)

西北ブロックは、今年度から西部ブロックと犀北ブロックが統合され、19校で活動して参ります。事業としてはふれあい研修会の実施が主な活動となりますが、年3回行われる役員会を通じて各校の親睦を深めながら情報交換の場となればと思っています。また、PTAについてさまざまなご意見がありますが、会員の負担軽減とPTA組織の必要性を考えていきたいと思っております。

教育問題委員会



委員長
森田 舞
(西部中)

教育問題委員会は、長野市教育懇談会の運営を担当しています。長野市教育委員会・長野市校長会・長野市PTA連合会の皆さまとともに、講演や分散会を通じて意見を交わす貴重な場です。学びを各校のPTA活動に活かせるよう、有意義な会を目指しています。
どうぞよろしくお願ひします。

東北



ブロック長
加藤 潤
(附属小)

東北ブロックは、小中学校12校から構成されるブロックとなります。主な活動としては、ふれあい研修会の開催となりますが、ブロック内で横の連携を深め、各単位PTA活動が社会変化に合った形で、持続可能なPTA活動が展開できるよう努めて参ります。1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

家庭教育委員会



委員長
森山 奈々
(裾花中)

親子の学びを大切に、家庭における教育力の向上に取り組んでいます。信州大学教育学部のご協力のもと行う「親子参加型研修会」の運営、長野市教育委員会主催の「青少年健全育成フェスティバル」への参加協力、心温まる「三行詩」の募集などを行います。
子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは誰もが同じ。その一助となれたら幸いです。活動を通じて大人も愉しく学ばせていただきます！

北部



ブロック長
小林 孝
(東部中)

北部ブロックは、13校の小中学校で構成され、年3回の協議会のほか、7月のブロックふれあい研修会では、「音と平和」をテーマに、親子で日常の雑踏を一旦離れ生の弦音に学びました。協議会を通して各校の連携を深めながら、情報交換の場所となるよう活動していきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願ひいたします。

保護者代表者特別委員会



委員長
石坂 晶子
(柳町中)

保護者にとって、もっとも身近なPTA活動は学級懇談会だと思います。同じ年の子を育てる親同士、ほかのおうちはどうしているのか気になることを聞いたり、共感しあえたりすると、子育てがちょっとだけ楽になりませんか？保護者代表者特別委員会では、積極的に参加したくなる学級懇談会を開催できるよう、少しでもサポートしたいとの想いで活動しています。

犀南



ブロック長
月岡 学
(更北中)

犀南ブロックは全9校で活動しています。年3回の協議役員会と、9月にふれあい研修会の開催を予定しています。連携・親睦を大切にしているブロックと代々伝えられていますので、役員会や研修会を通じて、交流を深めながら有意義な意見交換を行い、子どもも親も楽しく学校生活が送れるように、一丸となり活動していきたいと思ひます。積極的に活動をしつつ、負担が少なく、参加しやすい会を目指して参ります。

お知らせ

ついにWebデビューです！紙面でお届けしてきた情報を、これからはWebでいつでもどこでもご覧いただけます。「ちょっと気になるな」と思ったら、ぜひアクセスしてみてください。便利になったPTA新聞、これからもよろしくお願ひします！

広報委員長 小林 由美